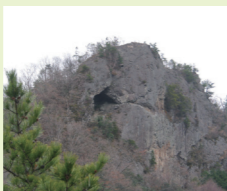


伊勢山・神座の窟

伊勢山には東側に本峰(高さ353m)と、西側に神座の窟がある岩峰(高さ318m)があります。神座の窟は、高さ55m、幅70mもある自然にできた大きな岩穴です。「播州名所巡覧図絵」という本にも書かれていて、不動明王や弘法大師、役行者の小さな石仏がおかれています。

行った日



伊勢自然の里・環境学習センター

平成16年(2004)4月24日にオープンした自然体験型の環境学習施設です。里山の豊かな環境を守り、子どもから大人まで、いろんな人たちが楽しみながら環境を守ることについて学べる場所です。

行った日

etc



伊勢茶屋・因幡街道

因幡街道は、伊勢茶屋・追分・六九谷を南北に通っていました。そこには旅籠や立場(休憩場)がありました。鳥取藩の殿さまや山崎藩の殿さまの参勤交代の記録に、伊勢茶屋の様子が書かれています。

行った日



空木城跡

山の上にあるお城で「播州名所巡覧図絵」という本には、「岩屋赤松遠見城跡」と書かれています。「損保郡地誌」という本には、嘉吉元年(1441)ごろに赤松家の家来である小野七郎右衛門が住んでいたと書かれています。天正年間(1573~93)のころには原田大炊助がお城に住み、秀吉に攻めほろぼされたと伝わっています。

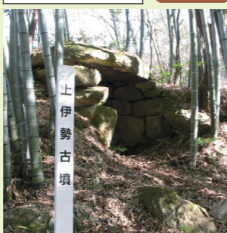
行った日



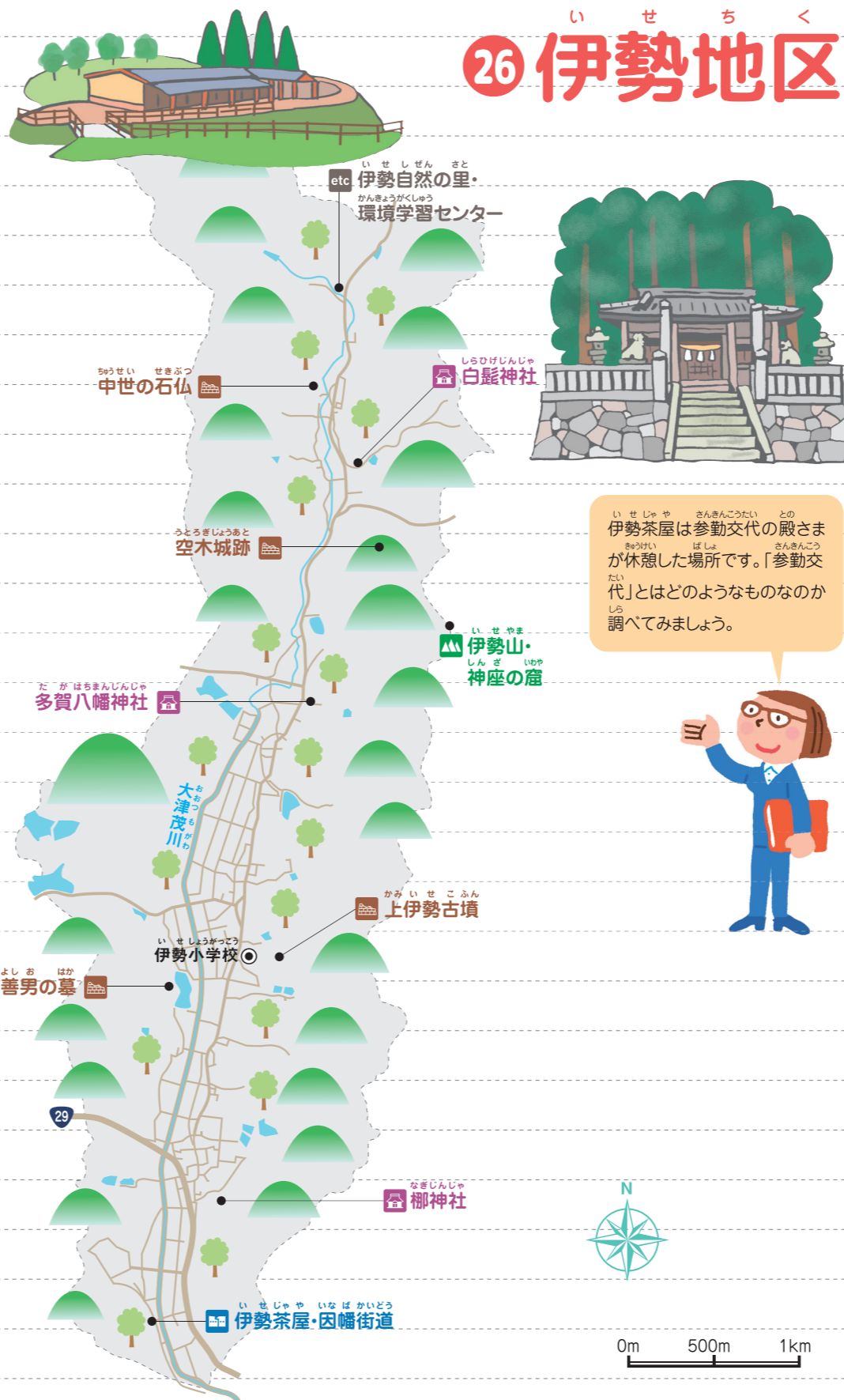
上伊勢古墳

伊勢小学校の東の方、竹やぶの斜面にあります。棺をおさめる部屋は奥行き3.37m、幅2.17mで、横穴式石室です。天井の石は一枚の大きな板石が使われています。

行った日



調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!



26 伊勢地区

- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

白髭神社

大堤宇東山に貞享5年(1688)に建てられました。猿田彦命がまつられています。境内には、寛政9年(1797)の燈籠や明治42年(1909)の開墾碑があります。

行った日



多賀八幡神社

追谷山のふもとにあり、いつ建てられたのかは分かりません。初めは八幡神社として品陀和気命(応神天皇)がまつられていましたが、明治39年(1906)に豊受大神がまつられている多賀神社と一緒になりました。

行った日



中世の石仏

大堤の村の北西にまつられている凝灰岩でつくられた石仏です。長さ40cm、幅30cmで、両手を合わせて立っているお地藏さまです。中世のころの石仏の姿をしています。

行った日



伴善男の墓

下伊勢の大池北側に塚があります。伴善男は大伴氏の子孫で、応天門の火事の犯人とされ、仁和2年(866)に伊豆へ流され、仁和4年(868)に亡くなったといわれていますが、『峰相記』という本には、天慶年間(938~947)に播磨国へ流され、お墓は西川合にあると書かれています。

行った日



柳神社

垂仁天皇の時代、空から十二の幡(旗)が落ちてきて、その一つが下伊勢の柳の枝にかかり、天照大神が現れたといわれています。十二の幡(旗)が落ちた場所に12の神さまがまつられました。この時、柳の大きな木を切った跡に天照大神をまつたので柳神社と名づけられました。

行った日

